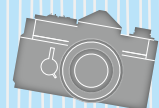


まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎ 43・8113



まちづくりは健康づくりから

大塚製薬と包括連携協定を締結



▲原崎市長(左)と握手を交わす大塚製薬株式会社福岡支店の笠間康久支店長(右)

市は3月19日に大塚製薬株式会社福岡支店と「福津市と大塚製薬株式会社との包括連携協定」を締結しました。大塚製薬株式会社は医薬品やスポーツドリンクなどを製造・販売している会社です。

今後はこの協定に基づき、市と大塚製薬株式会社が共働で、地域の活性化や健康増進、市民サービスの向上につながる取り組みを進めていきます。現在、連携を予定している分野は健康づくりや食育、スポーツ振興、災害対策支援などに關することです。

大塚製薬株式会社は昨年の全市一斉防災訓練の際に、宮司地域で防災と食に関する講演を行うなど、すでに市内でも市民を対象とした健康づくりの取り組みを始めています。大塚製薬株式会社福岡支店長の笠間康久さんは「地域の活性化のためには、市民の健康が大切。これからも、市民の皆さんの健康づくりに貢献していきたい」と抱負を語りました。

スマートフォンで便利な毎日を

デジタル社会の実現に向けた講演会を開催



▲スマートフォンの活用方法を語る森戸さん

1月15日に市立図書館で「こんなに便利！デジタル社会の可能性」と題し、スマートフォンの活用に関する講演会を行いました。続く2月16日にはふくとぴあで「デジタル社会をみんなで進めるつどい」を開催しました。講師を務めた総務省の地域情報化アドバイザーの森戸裕一さんは「シニアのスマートフォンの活用こそ、買い物や移動手段など地域の問題解決になる。ぜひ学習グループを作ってほしい」と語りました。

海岸松林の保全を進めるために

福岡森林管理署と森林づくりの協定を締結



▲調印式に臨んだ福岡森林管理署の角秀敏所長(左)

市は3月31日に福岡森林管理署と「ふれあいの森における森林整備活動に関する協定」を締結しました。この協定は市と国が連携し、国有林である市内の海岸松林を森林づくりの場として円滑に利用できるようにすることを目的としています。協定の対象となる国有林は、森林づくりの活動地としては県内で最大の面積です。福岡森林管理署の興梠美喜夫さんは「今後多くの皆さんに松林の保全に關わってほしい」と語りました。

福津の新たな逸品が誕生

福津いいざいが新商品「炊きほぐし」を開発



▲新商品を紹介する福津いいざいの森さん

市では、地域商社「福津いいざい」と共働し、農水産物の付加価値の向上などを目的とした新商品の開発に取り組んでいます。昨年は3種類の「炊きほぐし」が誕生しました。1つ目は天然真鯛の希少部位「ほほ肉」を使った「天然真鯛ほほほぐし」。運動量が多いほほ肉は、歯ごたえがあり、噛むほど染み出る旨みを味わうことができます。2つ目は、天然鮪を使った「天然鮪漬け煮」。丁寧にほぐした鮪は素材の味を存分に楽しむことができます。3つ目は、天然鮪を使った「天然鮪しぐれ煮」。しょうが風味の甘辛さが癖になります。

福津いいざいの森昌弘さんは「どの商品も手作りで丹精込めて、ぜひたくな逸品に仕上げています。大切な人への贈り物などに活用してほしい」と話してくれました。

災害ボランティア活動を支援

災害時のボランティア活動に関する協定を締結



▲原崎市長と握手を交わす権現昭二会長(右)

市は3月24日に市社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を締結しました。この協定により、受け入れ体制などを整えることで、災害ボランティアの活動が円滑に進むことが期待されます。市社会福祉協議会会長の権現昭二さんは「ボランティア支援のノウハウを生かして災害時の復旧に貢献したい」と語りました。

きょうだいでダブル受賞の快挙

第41回読売学生書展の最高賞を受賞



▲仲いろはさん(中央)と和海さん(右から2人目)

津屋崎中学校1年生の仲和海さんと妹で津屋崎小学校2年生のいろはさんが、昨年度の読売学生書展で最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。全国から8千点を超える作品の応募がある中で、きょうだいそろって最高賞を受賞するという快挙を成し遂げました。「きょうだいでダブル受賞できたことがうれしい」と兄の和海さんは語りました。